

2002年8月号 経済界 企業探訪関西掲載

日本で唯一の物流専門組織コンサルティング企業。綿密な計画性で堅実な成長軌道を  
日本ロジファクトリー <http://www.nlf.co.jp/>

青木正一社長は物流業務のプロとして日本経済に貢献することを目指している  
ビジネス社会の動脈ともいべき物流だが、意外にも、物流専門のコンサルタントは皆無。そこ  
に着目したのが日本ロジファクトリー (NLF、大阪市)だ。

創業者の青木正一社長は、「20歳の時に、商売ではなく、事業をしよう」と決意した。大学在学  
中から学内のイベント、ファッションショー、ダンスパーティーなどの企画をビジネス化し、4年から  
は、将来の事業資金をためるために佐川急便でアルバイト。卒業後はそのまま佐川に就職し、3  
年後は経営センスを磨くために船井総合研究所に転職して、7年4カ月の間、物流コンサルタント  
としての経験を積んだ。そして、1996年、佐川急便と船井総研での経験を重ね合わせ、物流に  
特化した経営コンサルタント企業「NLF」を立ち上げた。

物流業務の改善は単に配送業務を請け負うだけではだめです。実際に物流を担いながら、会社  
の仕組み全体を改善していく必要があると考えました」

不況や競争激化から、物流コストの削減を厳しく求められる時代だが、経営者の意識はまだま  
だという。例えば営業マンが在庫をチェックしているような、社内に内在する物流コストまで洗い出  
して、総合的に物流システムを組み換えなければならないという視点を持つ経営者はまずいない。  
NLFはこうした物流コスト削減の盲点を指摘するなど、物流専門コンサルタントならではの対応で、  
次第に信頼を獲得してきた。

現在は、物流版人材紹介サービスも展開。将来的には、物流ファイナンスも手掛け、物流に関  
するヒト、モノ、カネのすべてを提供できる体制を目指している。

主要スタッフはすべて物流業務の経験者。青木社長自身は得意先を持たず、スタッフに権限を  
委譲し、自分自身は人材の発掘や教育、異業種交流会に出席して人脈を広げることなどにエネ  
ルギーを注いでいる。

創業6年を経過。毎期10～15%成長と堅実な伸張ぶりだが、これも綿密な計画どおり。  
今はじっくりと事業の基盤づくりをする次期」

とあえて急拡大は抑制し、着実に力をつけながらの成長を目指している。「5年後には売上30  
億円、経常利益7億5千万円、社員30名」と堅実な青写真を描いている。

将来は、日本にも米国のような大学の物流専門学部を誕生させたいというのがもうひとつの夢。  
物流の社会的地位の底上げを図りたい」-これが青木社長の究極の目標だ。